

新任診療部長紹介

耳鼻咽喉・頭頸部外科

専門分野

耳科・側頭骨手術、側頭蓋底手術、特に中耳真珠腫に対する鼓室形成術、聴力改善手術、人工聴覚器手術



やまもと ゆたか
山本 裕

耳鼻咽喉・頭頸部外科は胸部の上から頭蓋の下までの広い範囲を扱います。そこには生命維持や日常生活上に不可欠な聴覚、嗅覚、味覚、平衡、嚥下、発声などの機能が存在します。私どもはこれらを障害するあらゆる疾患に対して、内科的、外科的な治療法を駆使して治療を行っています。受診された患者さんのそれぞれにとって最良の医療を各分野のエキスパートがお届けできるように努力してまいります。

泌尿器科

専門分野

泌尿器がん（特に前立腺がん）に対する腹腔鏡・ロボット支援手術、薬物療法



きむら たかひろ
木村 高弘

泌尿器科では腎がん、膀胱がん、前立腺がんなどの悪性疾患、過活動膀胱など排尿に関する疾患、さらには尿路結石、前立腺肥大症など幅広い疾患に対して専門的な診療を行っています。がん診療ではロボット支援システムが導入され、豊富な経験と高い技術に基づいた手術を行っています。それぞれの疾患に対して、複数かつ最新の治療選択を提示することで、患者さんひとりひとりのニーズに合った治療が提供できるよう心がけております。

病院病理部

専門分野

病理診断学、特に消化管病理



しもだ まさゆき
下田 将之

病院病理部では、患者様から採取された組織や細胞を診断することにより、病気の原因は何か、病気がどの程度進んでいるか、最適な治療方針は何か、治療がどの程度効いているかなど、診療に不可欠な様々な情報を取得し、各科に提供しております。また、病理解剖を通じて、病気の理解を深めるとともに、医学の進歩への貢献を目指しております。患者さんに最適な医療を提供できるよう、常に正確で迅速な病理診断を心がけて参ります。

すこやか

No. 70 2022

インフォメーション

慈恵大学病院だより



TOPICS 母子医療センターからセミオープンシステム導入のご案内

セミオープンシステムは、地域の診療所やクリニックと病院が連携をとり、妊婦健診は診療所やクリニックで行い、妊娠後期の妊婦健診や分娩管理、夜間休日の救急対応は連携する病院で行うシステムです。当院で周産期管理をご希望される方の中には、出産は当院で行いたいけれども、それ以前の妊婦健診に関しては、職場や自宅から近いクリニックで行いたいというご希望を持つ方が少なからずいらっしゃいました。そうした方々のご希望に応えるため、2022年9月1日よりセミオープンシステムを開始いたします。



当院のセミオープンシステムをご希望される妊婦の皆様は、妊娠14週までにかかりつけの施設からの紹介状をお持ちになって受診ください。また、本システムに関してより詳しく知りたい方は、是非母子医療センターまでお問い合わせください。当院で出産をして良かったと思って頂ける妊婦様が一人でも増えるよう、尽力して参ります。どうぞよろしく御願ひ申し上げます。



院長交代のご挨拶

特集

手外科センターってどんなところ？

スタッフ紹介・新任診療部長の紹介

耳鼻咽喉・頭頸部外科／泌尿器科／病院病理部

TOPICS

母子医療センターからセミオープンシステム導入のご案内



伝統を礎に、時代の先を見すえて

当院は140年にわたり建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」にもとづいた医療を実践しています。患者さん一人ひとりのため、社会への貢献のために、質の高い医療の実践と医療人の育成に努め、患者さんやご家族から信頼される病院であり続けることをモットーとしています。2021年度の外来受診者数は1日平均2,600人、入院患者数は1日平均760人で、日本で有数の診療実績をもつ大学病院です。

2020年1月にリニューアルした外来棟は、診療科の壁を越えた連携しやすい配置に工夫され、充実した診療内容を展開しています。十分に広く清潔な空間設計はそのまま厳密な感染対策へとつながり、パンデミック下でも安全で安心な医療の提供が可能になっています。

2020年12月に母子医療センターが「東京都総合周産期母子医療センター」に指定され、「子どもたちの健やかな明るい未来」のためにスタッフが一丸となり、より一層励んでいます。診療後の待ち時間を減らすため新しい会計システムも導入しました。

病の早期発見と予防のために予防医学も重要です。当院附属の新橋健診センターは1948年に設立され、母子医療センターと同時にリニューアルしました。快適な空間のなかで、大学附属施設であることを活かした高性能な検査機器を利用した人間ドックや健診を受けていただけます。

患者さんやご家族から信頼される病院であり続けるために、これからも職員一同、一層尽力してまいります。

2022年 8月

慈恵大学病院長 小島 博己



特集

手外科センターってどんなところ？

手外科センターは肘から末梢の疾患の診断・治療を得意とする整形外科医と形成外科医が集約された組織です。具体的には、肘～手指までの骨折、脱臼、切創、挫滅創などの外傷、腱鞘炎、テニス肘などの腱の障害、ヘバーデン結節や母指CM関節症（図1）などの変形性関節症、手根管症候群（図2）や肘部管症候群などの末梢神経障害、関節リウマチによる肘や手指の変形（図3）、上肢に生じた腫瘍性病変や感染症、および四肢の先天異常（図4）の治療を担当します。先天異常に関して、手のかたがちが変っている、向きがおかしい、動きが不自由、など様々な理由で心配しているお子さん、保護者の方がいらっしゃればぜひ当院にご相談頂ければと思います。当院では50年以上にわたり手の先天異常の治療を続けてまいりました。お子さんの手は年々成長していきますので、術後に手がどう成長して生活の中で使われるかがゴールになります。このため、成人の外傷と違い、

結果が出るまで10年以上かかります。このような長期間のフィードバックを重ねて蓄積された知識と経験が、他施設にはない強みです。また、手術用ルーペや顕微鏡を用いて行うマイクロサージャリーという技術を駆使し、切断指の再接着、上肢や下肢の骨・皮膚・軟部組織の再建なども行います。整形外科医と形成外科医がそれぞれの得意分野を持ち寄り、また上肢のリハビリを専門とする作業療法士と協力し、個々の患者さんに対して最適で持続可能な医療を提供してまいります。さらに、関節リウマチの関節破壊の機序の解明やDupuytren（デュピュイトラン）拘縮（図5）の病態の解明、手指の骨折に対する新規固定法の開発など、大学病院として学術的な側面からも手外科疾患に取り組んでいます。肘から先端でお困りごとがございましたら、かかりつけの先生の紹介状をご持参のうえ、外来棟5階Kブース（13&14ブース）にご相談いただければと思います。

手外科センター スタッフ紹介

新任センター長

専門分野 手肘の外科、特に関節リウマチや骨粗鬆症に伴う上肢の疾患の治療

まえだ かずひろ
前田 和洋



手の怪我をされてお困りになった経験はございませんか。手の怪我や痛みを抱える患者さんは大変多いですが、手の疾患を専門とする医師は日本に1000名程度しかおりません。当院における手外科診療は、半世紀にわたり整形外科と形成外科とで別々に行われてまいりました。2019年4月より手外科センターが開設され、2つの科が合同で診療にあたっています。専門医の集約化により、患者さんの利便性の向上が図られました。手肘の疾患でお困りの際は、紹介状をご持参のうえ、ぜひご相談いただければと思います。

専門分野 整形外科 上肢の変性疾患

ゆかわ みつひと
湯川 充人



出身大学 東京慈恵会医科大学
卒年 平成15年
出身地 新潟県
趣味 子供が飼いだしたペットの世話
好きな言葉 愛燦燦

患者さんへの一言

手肘にまつわることならお気軽に何でもご相談ください。

専門分野 形成外科 手外科、先天異常

にしむら れいじ
西村 礼司



出身大学 筑波大学
卒年 平成18年
出身地 徳島県
趣味 フットサル、読書
好きな言葉 前向き

患者さんへの一言

ご本人の生活に役立つ手とは何かを考えて、手の治療に携わって参ります。

専門分野 整形外科 上肢の骨折・外傷

ながみね ゆうじ
永峯 佑二



出身大学 東京慈恵会医科大学
卒年 平成24年
出身地 千葉県
趣味 音楽鑑賞
好きな言葉 継続は力

患者さんへの一言

外傷を中心に診療しています。患者さんに安心していただけるよう共に考え診療しております。

図1 ●母指CM関節症



物をつまむ時や瓶のふたを開ける時など、母指に力を必要とする動作で痛みが出ます。進行すると母指が開きにくくなり、CM関節の変形は外見からもわかるようになります。

※日本手外科学会「手外科シリーズ 15.母指CM関節症」より引用

図3 ●関節リウマチによる手関節の変形と腱断裂



特に外傷はなく、急に手指が伸びにくくなります。

※日本手外科学会「手外科シリーズ 22.リウマチによる手の障害」より引用

図5 ●Dupuytren（デュピュイトラン）拘縮

手のひらから指にかけて硬結（しこりやよこぶのようなもの）ができ、皮膚がききつれて指が徐々に伸ばしにくくなります。環指や小指に多く見られますが、他の指や足の裏にもできることがあります。痛みはあまりありません。

※日本手外科学会「手外科シリーズ 17.デュピュイトラン拘縮」より引用

図2 ●手根管症候群



※日本手外科学会「手外科シリーズ 1.手根管症候群」より引用

図4 ●四肢の先天異常の1例 母指多指症

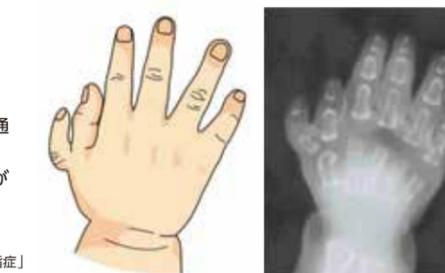
生まれつき母指がふたつあります。通常は、外側の母指が小さくなります。指の動きも、大きく発達している方が良く動きます。

※日本手外科学会「手外科シリーズ 26.母指多指症」より引用



示指、中指を中心にしびれ、痛みが出ます。しびれは環指、母指に及ぶこともあります。これらは明け方に強くなり、手を振ることで楽になります。

母指の付け根（母指球）がやせてきて、縫い物やボタンかけなどの細かい作業が困難となり、右図のようなOKサインができにくくなります。



図はすべて日本手外科学会HP「手外科シリーズ」より引用

